

市政を問う?

代表質問 一般質問



代表質問
(質問議員が執筆しています)

一般質問
(質問議員が執筆しています)

3月定例会では、3月18日に4会派が代表質問を、3月19日、23日には6名の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と市長を始めとする市当局の答弁(要旨)は次のとおりです。

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



会議録へ

※一般質問では、質問者の写真に質問の内容を示すマーク(子【子育て】、教【教育】、福【福祉】、
ま【まちづくり】、産【産業】、観【観光】、他【その他】)を新たに付けました。

議案審査の結果

委員会の活動報告

令和8年度 予算案の審査

高校生との交流事業

市長の基本方針

問 今後の市政運営における優先順位をどのような考え方で決定していきますか。

答 優先順位は、本市にとつて何が必要かを判断し、決定しています。職員に対しては「選ばれるまち」を重点テーマとし事業検討を指示しました。その方針に基づき各課が事業の実施計画、予算を作成したのち、目的に対する貢献、費用対効果が適切かどうかの観点から事業を精査し決定しました。

問 扶助費を見直すにあたり、セーフティネットの観点から低所得世帯や高齢者世帯の生活への影響に対し、どのような原則で配慮し、見直していきますか。

答 真に支援が必要な市民への扶助費に関しては、制度



公明党
山田清一



の維持や増額、制度変更の影響によっては経過措置を設けるなどの配慮をしています。見直しは、現在の社会状況に適合しているか、費用に見合った効果が得られているかなどを踏まえ、総合的に進めていきます。

問 小学校区コミュニティの構築を従来の地域組織の在り方や行政の関与の仕組みも見直しながら進めていくのか市長の認識を伺います。

答 自治区やPTAなど従来の地域組織を含む多様な主体が連携し、持続可能な地域活動につながる基盤となるよう、地域の実情に応じ、各組織が担う役割や連携の在り方を整理しながら進めていきます。また、地域との協議の場を整えることなどにより問題解決や新たな価値が創造されるよう寄り添っていきます。



チャレンジはんだ
伊藤正興



令和8年度市長施政方針

問 令和8年度予算に名前をつけるなら何予算と名付けますか。

答 健全で持続可能な財政運営を具現化した予算です。

問 亀崎小学校の放課後ひろばの設置計画が検討された段階で地域の皆様と協議しなかったのはなぜですか。

答 これまで地域の皆様とは方針を決めてから協議を行ってきたおり、計画の段階で協議するという発想がありませんでした。

問 既存の児童センターと同等の機能を持つよう放課後ひろばの機能を大幅に拡充する必要があると考えますが見解を伺います。

答 放課後ひろばでは、これから機能を拡充していき、出来ることを増やしていきます。行政の力だけでなく地域の皆様と共に良い施設にしていきたいと思っています。

問 放課後ひろばは、児童センターの代替施設という認識で良いですか。

答 代替となっている部分と役割を他に依頼したところもあります。子どもの居場所という点では十分役割を担っていくと思っています。今後の運営の中で更に良くなっていくよう取組めます。

問 これまで中心市街地の活性化に苦戦していますが、賑わいは復活しますか。

答 賑わいは取り戻せると思っています。これからは新しい知見を取り入れて中心市街地の整備に取組んでいきます。半田らしい中心市街地は必ず作れると信じています。

